

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみゼロ作戦用放射能対策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	01	04	06	58
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	落葉、草	意図	生活環境の保全。
事業内容	落葉・草は、クリーンセンターで焼却処分していたが、焼却灰から高濃度の放射性物質が検出されたことから、森のまちエコセンターで仮置きしている。春と秋で実施するごみゼロ運動で発生した落葉・草について、森のまちエコセンターまで収集・運搬を委託する。			
事業開始から現在までの状況変化	本市焼却施設の熔融飛灰に含まれる高濃度の放射性物質を抑制するとともに、空間放射線量の高い場所での清掃作業における注意事項への市民の理解が深まった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	選定枝・落葉・草の回収量	46.30	47.16	46.67	トン	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） クリーンセンターの焼却灰の放射線量を低減化している。 分別の徹底を図るため、周知を図っている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,504,060	3,526,720	3,700,320			
事業費(b)(円)		1,547,700	1,591,920	1,591,920			
うち一般財源		1,547,700	1,591,920	1,591,920			
職員給与費(c)(円)		1,956,360	1,934,800	2,108,400			
人役・職員(人)		0.28	0.28	0.28			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	事務改善による経費の削減。	③取組の課題	収集方法の見直し。
②今年度(H27)に実施した取組	平ボディ車の3倍積めるパッカー車に変更し、経費節減を図った。	④今後の改善計画	事務改善による経費の削減、引き続き周知を図る。